



梓川高等学校だより

発行 長野県梓川高等学校 第6号 平成24年3月3日 長野県松本市波田10,000-1 tel.0263-92-2119 fax.0263-91-1027

巣立ちの時 平成23年度卒業式を迎えて



卒業生の皆さんへ

〜梓川ブランドの贈り物〜

学校長 宮入 千恵子先生

梓川高校は、100年の歴史を誇る伝統のある高校です。一世紀にわたり松本市波田の地で、地域の皆様に大切にはぐくみ育てられて来ました。卒業生は一万二千人。地域社会の各所・公所で活躍され、本校のよき応援団となっていました。地元の方々は梓川高校生の振る舞いや態度、そしてこれから社会に出ていかんとする卒業生の活躍ぶり大きな関心を寄せています。よき伝統と校風、そしてこれから社会に出て行かんとする卒業生の活躍ぶりに大きな関心を寄せています。よき伝統と校風、そして地域社会で活躍する梓川OBのネットワークは、本校が地域とともに歩み、成長していくことを可能にし、また梓川高校生のがんばっている姿は、地域社会の大きな活力となります。梓川高校をステップアップさせていくことは、とりも直さず、在校生や卒業生の可能性を大きく広げていくことにもつながります。

今まさに、社会へ船出しようとしている皆さん。これからも梓川ブランドを大切に育て、魅力ある梓川ブランドへのこだわりをもって、社会生活を送られることを願ってやみません。「皆さんの洋々たる前途と伝統ある梓川高校のますますの発展に乾杯！」

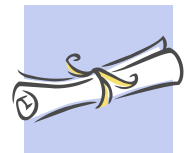
校章制定に対し意味づけし

五項目

梓川の如く

- 一、清澄むなる人物を養成するにあり
- 二、包容力ある人物を養成するにあり
- 三、苦節に耐える人物を養成するにあり
- 四、悠久に真理を追究する人物を養成するにあり
- 五、社会公共に貢献する人物を養成するにあり

御卒業おめでとう～卒業学年の担任より～



3年1組 佐々木康彦先生

卒業にあたり皆さんに一言いっておきたいことがあります。「物事を見極める力を養いながら、何事にも一生懸命にやる。手を抜かずに全力で取り組む」ということです。仕事や勉強だけでなく、友達と付き合う時も、恋人と付き合う時も、また遊ぶときにさえ「全力」で取り組んで欲しいと思います。中途半端に生きて、後から「あの時…」と悔いを残してはいけません。



3年2組 青木隆明先生

入学してからこの時を迎えるまでいろいろなことがあったと思います。楽しかったこと・うれしかったこと・感動したこと・面白かったこと・反対に、悲しかったこと・つらかったこと・つまらなかったこと等…。そんな中で卒業するまでに一番頑張ったのは当然あなた自身です。しかし、あなたをいろいろな形で支えてくれた人たちが必ずいたはずですよ。それは校内の友達であったり、家族であったり、学校の先生であったと思います。その人たちに、この時期に、必ず感謝の気持ちを伝えてください。

期に、必ず感謝の気持ちを伝えてください。

3年3組 大沢 実先生

今の時代、高校へ入学するのはとても簡単です。しかし、高校を卒業するのは難しいです。いろんな意味で大変です。でも、卒業こそが高校生活の目標です。4月6日の入学式のLHRで話したことです。簡単でなく厳しく、険しく、大変な卒業という目的を達成したのですから、諸君は本当に素晴らしいです。だから、僕は大変嬉しいのです。



3年4組 伊藤千晶先生

三年間、担任することになった40人の志願理由書や中学校からの記録を何度も見ていたのを思い出します。志願理由書は高校生活への期待や意欲に溢れていて、中学校の先生方の記述からは「きちんとした子なんだなあ」とか「面白そうな子だな」というような印象を受けて、それはもう、明るいスタートを予感させるのに充分でした。



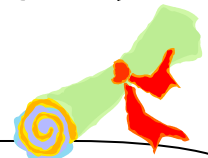
実際には当然ながら、それまでのちがった背景を持ち、個性を持った40人の集まりで、この三年間は私も一緒に浮いたり沈んだり。でも今になると、『みんな思い出』みたいになってきています。それは、15、16歳から17、18歳への充実を感じることができたからだと思います。

●生徒でつくる卒業式2部を今年度もおこないます



テーマは“LAUGH”です。式場全体に笑顔を届けたいです。最後の行事なのでみんなにやってよかったと思ってもらえるように頑張っています。

卒業式実行委員長 塩原さん



●昨年度卒業生追跡調査の集計結果より

昨年度の卒業生に、本校進路係が郵送でアンケートの依頼をしました。その結果より卒業生の声を抜粋してお伝えします。 集約状況 郵送 141人 (回収率: 35.5%)

【大学】

- ・夢を持ち、それを実現するためには今何をすべきかをよく考え、行動しましょう。人生は一度きりしかないので、悔いが残らないように生きよう。(奈良大学)
- ・高校生活3年間のうちに将来やりたい事を具体的に決めた方が大学生活も苦にならず楽しく思う。早め早めの行動など求められてくるので今のうちにクセをつけておく。高校生活を存分に楽しむ。(東京福祉大学)

【短大】

・やはり、高校とは違って、自由になる部分がでできます。それと同時に”自己管理”をすることが”ほとんど”全て大切になります。自分とより向き合えると共に、悩み苦悩しても自分らしさを見つけられるかもしれません。自分の将来を考えながら進学を通して学びを深めることも良いなと感じます。(松本大学松商短期大学部)

【就職】

- ・教養のある人になろう。そのためにも、今やっている勉強は決して無駄にならないです。というより、今現在、自分が身を持って体験中です。どこへ行っても結局はやらなければならない一般常識なのです。それから、2年制というのは思っている以上に忙しいです。入学したその年には就活が始まり、面接や小論文もやることになります。高校生のうち勉強するのもよいのではないのでしょうか。(情報)
- ・学生の頃とは全く違うストレスを感じて仕事を辞めたくなる時もあるけど、少しの、ほんの一時的感情で辞めたら絶対後悔します。学生気分を切り替える事が大事だと思う。(サービス)